

## 令和4年8月教育委員会定例会会議録

1 期 日 令和4年8月19日(金) 開会 午後3時30分  
閉会 午後4時45分

2 場 所 旭市役所3階政策決定室

3 出席委員 諸持 耕太郎(教育長)  
鏑木 俊一(教育長職務代理者)  
鈴木 典男  
富山 理  
平野 勝久

### 4 出席職員

教育総務課長	向後 稔
学校教育指導室長	齊藤 実
生涯学習課長	伊藤 弘行
体育振興課長	金杉 高春
教育総務課副課長	江ヶ寄 基道
教育総務課副課長	中川 浩
生涯学習課副課長	加瀬 美智子
生涯学習課副課長	飯嶋 一男
体育振興課副課長	遠藤 敏晴
教育総務課総務班副主査	鶴殿 ころろ

### 5 教育長開会宣言

### 6 教育長挨拶

- ・お盆が終わりまして、少し朝夕暑さもしのぎやすくなってきています。そのように感じているところであります一方、コロナの感染状況がまだまだ油断を許さない状況になっております。先月7月26日に3年ぶりに子ども議会が開催されまして、当日は小学生中学生20名の子供議員さん、通学路や公園の問題、新たな投票所の設置、避難所でのコロナ対策、空き家対策ゴミ問題等々、質問が多岐にわたりました子供議員の視点で旭を少しでも良くしていこうと言う意気込みを感じられまして、大変有意義な発表の機会となりました。また、来年以降も続けられるといいなというように感じたところであ

ります。次に、夏休みも残すところあと10日前後というところですが、今のところお陰さまで大きな事故等は発生していませんが、まもなく二学期を迎えますので、引き続きコロナ、熱中症対策に充分注意を図っていきたいというように考えております。本日は2件の議案が上程されておりますのでご審議のほどよろしくお願いいたします。

## 7 会議録署名委員の指名 鈴木 典男委員 平野 勝久委員

## 8 教育委員会報告

- ・資料により委員会報告及び行事予定を説明する。

## 9 議案

議案第12号 令和4年度旭市一般会計補正予算案のうち教育委員会所管の補正予算案に関する意見について

議案第13号 教育委員会の事務の管理及び執行に係る点検・評価について

### 【教育長】

- ・議案第12号は、議会に対する意見に関する意見の申出事項であるため「旭市教育委員会会議規則第8条第1項第4号」の規定により、非公開とすることについて諮る。
- ・全会一致で非公開と決定し、職員の退席は求めない。

〈これより非公開〉

議案第12号 令和4年度旭市一般会計補正予算案のうち教育委員会所管の補正予算案に関する意見について

- ・議案第12号については、全会一致で承認する。

〈非公開を解く〉

### 【教育長】

- ・議案第13号の提案理由を求める。

### 【教育総務課長】

- ・議案第13号について、提案理由及び内容を説明する。

議案第13号 教育委員会の事務の管理及び執行に係る点検・評価について

《質疑》

### 【委員】

- ・ だいぶ意見を取り入れられたので非常に良かったなと思うのですが、二つほど質問をさせていただくと、一つ気がついたことを言わせていただきます。15ページ育英資金の給付事業、今後の取り組み課題の中で、積立額が高額になったということが書いてありますが、どうして積立額が高額になったのでしょうか。それから28ページ課外活動支援事業、非常に学校としては助かっていると思うのですが、これ以外に学校として要望があるのか、もっと欲しいとか、もしあるのであれば来年度以降増やすとかそういうことも考えなくてはいけないのかなと思います。これが二つ目の質問です。気づいたことですが、8ページの市内小中学校の再編について今までは取り組みますとか、行いますというような表現だったのですが、ここだけ丁寧に参りますというようなになっているので、来年度は語尾を全部統一するように考えて頂ければいいかなと思います。

### 【教育総務課長】

- ・ 15ページの育英資金の積立につきましては、これまでは毎年利息分だけ財源として活用しており、そのほか毎年寄付がありまして、育英資金として寄付を頂いた分についてはずっと積立としており、金額の方が毎年増えている状況でございます。これまでの基金を積み立てまして、利息だけ財源として使っていたのですが、今利息のほうもゼロ金利政策などの影響もありまして、利息の金額も少ないもので、それを財源として使うには厳しい状況でありますので、今後は積立額を取り崩してこの給付事業の方にあてていったほうがいいのではないかとというような財政部門との協議もしてございます。それと8ページの何々して参りますというところですが、鎗木委員ご指摘のとおりほかの文言と整合性が欠けておりましたので、大変申し訳ございませんでした。次回から文言を統一するようにしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

### 【学校教育指導室長】

- ・ 課外活動支援事業についてご説明いたします。令和3年度は部活動指導員が8名、本年度も予算としては8名分確保しておりますが、実際のところ8月現在で、中学校に入っている指導員は6名となっております。現場の状況から、なかなか部活動指導員をやっていただく方が見つからないという課題もありまして、ニーズとしては入っていただきたいという学校からの声があります。

### 【委員】

- ・ ひと通り読ませていただきましたけれども、全体的にコロナの影響をかなり受けた1年だったと思います。先程説明がありましたが、コロナ禍において、

感染対策を講じたうえで可能な限り授業を進めようとする姿勢を感じられました、という外部のお二人の学識経験者からの意見が述べられていました。そのように順調に進められていたというように思います。コロナの状況がどうなるのかまだ先行き不透明な状況ですが、さらに対応を施し実施に努めていただきたいという意見も盛り込まれていますので、継続的に実施していかなければならないところだと思います。今後、コロナのこういう状況ですので、今までのコロナに対する基本的な対応姿勢というのは継続していかなければならないと思うのですが、新たな取り組み、対応は必要になってくるのではないかと思います。ネットを利用するなどいろいろありますが、面白いもののひとつが甲子園の組み合わせが今回変わりました。これは一例ですが、このように新たな取り組みを作り出していくことによって、授業が実施できていくということに繋がっていくのではないかと思います。それからお二人の学識経験者からの意見ですけれども、全体的に高評価を得ていると思います。施策に異なる部分はありましたけれども、ほとんど同様の評価を得ているように思います。立場の異なるお二人の意見が同様の評価を得ているというところに、一部の管理、執行状況が順調にあるということを示しているのだというように感じました。このような評価のあり方が、新しい教育委員制度の中に設置された総合教育会議と関連付けられていくのだということも感じましたので、引き続きこういうかたちで多方面から評価していくということは必要になるのではないかと思います。

#### 【教育総務課長】

- ・ただいま委員から大変貴重なご意見をいただきまして、コロナの影響でいろいろ工夫をして事業を実施してございますが、さらに今後も工夫してできるところは実施していきたいと考えております。また、学識経験者からの評価につきましても大変貴重なご意見をいただきまして、今後総合教育会議などにも繋げていきたいと考えております。

#### 【委員】

- ・課外活動支援事業の部活動の支援指導員の人数が8人とか6人とかおっしゃっていましたが、実際学校の方には、経験者が外部コーチとして入っている場合もあるのですが、学校の方で募集して、学校の方でやられているのか疑問に思い教えていただきたいのと、スポ少の競技団体への支援ということで、今補助金が出ているのか、どうしても体育館を使用すると電気代等の支払いが増えて支払い的に増えているような気がするのですが、その辺は支援をするのであれば上手に折り合いをつけていただければ助かると思います。実際スポ少は、ほとんどボランティアじゃないですけどボールを買ったり、用具を買ったり、スポ少自体の電話が入ったものが必要だったりと保護者の持ち出しが多く、支援というかたちでどの辺までできるのかということ

を考えたときに、電気代の支払いはということで、どこかで支援の材料になれるのであれば検討をお願いしたいなと思います。

#### 【学校教育指導室長】

- ・部活動の補助については大きく三つに分かれると思います。まず一つが部活動指導員、こちらは単独での指導や引率ができます。教諭の代わりに一人で指導することができます。それから課外活動支援員、これは教員の補助という立場で入ります。もしかしたら保護者で経験した方がお手伝いをする、とかたちで顧問がいる時に一緒に来て支援をしてくれる、といった状況になるかと思います。あと一つはボランティアとかたちで入っていただいているケースがあるかと思います。

#### 【体育振興課長】

- ・スポ少の関係ですが、現在スポーツ少年団、令和3年度時点で21団体ございます。野球、サッカー、バドミントン、ミニバス、柔道、バレーボール、空手等です。こちら少年団として、市としての予算を持っておりまして、実際253,000円を補助金として様々な活動、新たな取り組みを行ったり、外部からの指導員、そういったものに対して補助を行っております。今後もご意見に基づきまして、いろんな支援ができたらというように考えております。

#### 【委員】

- ・スクールカウンセラーの配置事業についてですが、スクールカウンセラー配置事業とてもいい事業だと思います。スクールカウンセラー3名で一人あたりかなり多くの案件を抱えているように思います。実際にスクールカウンセラーを活用した方数名にお話を伺いましたが、話をして聞いてくれるということに専念しているという意見が主で、一步踏み出して建設的に先が見えるようにアドバイスが欲しいなという意見の方が何人かいました。困っている人は今困っているので、数ヶ月先にどうしてくれというわけではなく、今困っているからスクールカウンセラーを利用しているのですという意見もありました。この事業とは関係ないかもしれませんが意見とさせていただきます。

#### 【学校教育指導室長】

- ・スクールカウンセラーを希望した方と一対一でカウンセリングする場合と、ケース会議と言いまして、今後の対応などをどうしていこうかというような会議があります。そこにカウンセラーが入ったり、学校職員が入ったりそういったケースの会議の中では今後の対応などを示すケースが非常に多いです。一般的な個別のカウンセリングでは、今後の方向性を示すというよりも本人の気持ちを聞き出してあげるということがメインで、気づきというように

考えております。

**【教育長】**

- ・議案第13号については、全会一致で可決する。

**10 その他**

**【学校教育指導室長】**

- ・教育活動の現況報告について報告する。
  - ① 新型コロナウイルス感染症関連
  - ② 児童生徒の活躍について
  - ③ 地域部活動について

**【体育振興課長】**

- ・ぼるぼる（日本一身近な海づくり推進事業）開催について報告する
- ・世界ユース卓球選手権大会について報告する

**【委員】**

- ・ぼるぼるについて説明いただきましたが、飯岡海岸では、東日本大震災のあと津波対策としてテトラポットを置いていったものが、今はそれを全部取り除いているという全く逆の光景なのですが、それが十数年経って執り行われているという現状と取り除かれたものすごい数に驚いています。そんな中、物理的な環境が変わってきたということ、それと生態系の方にも変わってきており、驚くことにそのブロックを取ったところに亀が打ち上げられたようなかたちで上がってきた。そういったところにも注目してアピールしていくというかたちが必要じゃないかなと思います。それと、今カルガモの親子が、都会だと水を求めて動いているという映像がありますが、飯岡の海岸で、親のカモ1羽に子カモ10羽がついて海岸を散歩している光景があり、そういった光景もあることですので、是非アピールの一つとして紹介していただければいろんな意味で参加者も増えてまた勉強になるのではないかと思います。

**【体育振興課長】**

- ・飯岡の海岸、砂浜にテトラポットがあるために現在その砂がつきすぎてしまっていると県に事情も聞いたのですが、実際、今年度は海水浴場も閉鎖ということで開催できないという状況と聞いております。その中、テトラポットの撤去は非常に長期プランで考えていると聞いておりますので、砂浜のイベントとしては問題ないのですが、環境の変化など、今後の学習の中にも取り入れながら実施していけたらということで、ご意見を参考にさせていただきたいと思います。

**【教育長】**

- ・今年7月末にYOU遊フェスティバルが久しぶりに開催され、完全実施ではありませんがビーチバレー、初めて開会式とプレーも少し見たのですが、その時に周辺の変化に私もびっくりしました。実施にあたっては、充分に来場者の安全面を確保しながら精査して進めてください。

**【教育長】**

- ・次回の教育委員会定例会は、9月27日（火）午後3時30分に開会することに決定する。

**1 1 教育長閉会宣言**